

リコージャパン株式会社 岐阜支社
～ はたらく人にも、地球にも、やさしい未来へ ～

RICOH

【企業概要】

- 企業名: リコージャパン株式会社 岐阜支社
- 所在地: 〒501-0115 岐阜市鏡島南 2-13-3
- 設立: 1959 年 5 月 代表者: 岐阜支社長 中本 宗利
- 岐阜支社: 社員数 129 名 (2025 年 10 月時点)
- URL: リコージャパン web サイト

<https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

岐阜支社 脱炭素ノススメ URL

<https://www.ricoh.co.jp/sales/branch/gifu/column/decokatsu-02/>

岐阜支社バーチャル体感サイト

https://www.ricoh.co.jp/sales/liveoffice/map/v_gifu



【事業内容】

さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供。

- 複合機 (MFP) やプリンターなどの画像機器や消耗品および ICT 関連商品の販売と関連ソリューションの提供
- サポート & サービス (画像機器や ICT 関連商品の保守、ネットワーク構築・保守、ICT 運用業務代行)
- システムインテグレーションおよびソフトウェア設計・開発

【活動・取組内容】

笑顔でつながるわくわくオフィス ～はたらく人と環境にやさしい事業所～

- 多様な働き方に対応する空間設計:

コラボレーション席、高さを変えられる昇降デスク、一人用リモートブース、集中ブースなど、多様な働き方に対応する空間は、ABW (Activity Based Working) を採用し、業務内容に応じて働く場所や環境を柔軟に選択できる働き方ができます。

異なる職種の社員と隣合わせることで、偶発的なコミュニケーションが生まれ、部署間の連携も促進しています。



▲2階執務エリアの様子



▲1階パーゴラエリアの様子

-  「創エネ×省エネ×蓄エネ」：

太陽光発電・蓄電システム、断熱建材、LED 照明、人感センサーなどを導入し、脱炭素・省エネモデル拠点として「創エネ × 省エネ × 蓄エネ」の三位一体を実現しています。2019年に民間企業として岐阜県内初「Nearly ZEB」認証取得！特に館内照明は、外光利用により照度を 60%以下に設定することで、消費電力をカット！時間とともに照度と照明の色が変化し、定時をすぎると 2 階執務スペースは自動消灯。これにより、省エネだけでなく、時間外労働の短縮にもつながっています！！



▲屋上：太陽光パネルとトップライト(採光)
(自然光を室内に取り入れる設備)



▲天井：トップライト



▲蓄電システム

照明の自動制御による省エネ以外の効果



サークルディアンリズム(体内時計)に合わせて照明を自動調整することで
社員が「働きやすいオフィスづくり」にも効果が出ております。



9:00~12:00 照度 60%



12:00~13:00 照度 30%

温白色



13:00~17:00 照度 40%



17:00~18:00 照度 30%

温白色



18:00 2F執務スペース 消灯



残業は事前申請の上、所定の場所で実施

外光利用 × RICOH Smart MES による省エネ効果



自然光が豊富に降り注ぐ窓際カウンター席 では、外光を活用することで
照度を抑えつつ、適切な照度を実現しています



採光クロス・フィルム
(L2-tech導入実証事業)

自然光を効率的に取り込み
居室内に拡散する設備



照度を 60% に設定した場合



省エネ



「出典：リコージャパン株式会社 岐阜支社の紹介資料より」

• 🌱 SDGs の取り組み :

リコーグループは、「環境経営度」を測る世界的な指標でも上位におり、SDGs に積極的に取り組んでいます。「SDGs キーパーソン」の配置、「SDGs 強化月間」で社員の意識を高めています。

「SDGs キーパーソン」の活動では、社員が各自の取り組みたいことを名刺の裏に書いて宣言する「SDGs 宣言リレー」、フードドライブ活動やペットボトルキャップ回収など、多様な啓発活動を展開しています！



▲岐阜支社の階段に貼られた SDGs の POP 掲示
『SDGs 階段』



▲フードドライブ活動



▲ペットボトルキャップ
回収活動の実績がわ
かる受領書

● デコ活 CFT の取り組み

岐阜支社では、部門や役職を超えたメンバーで全社的な経営課題解決に取り組む

CFT (Cross Functional Team) が 7 つあり、その中の一つとして、脱炭素に向けた活動を実践するチーム「デコ活 CFT」があります。

• 🚗 EV 導入とエコドライブ運動の推進 :

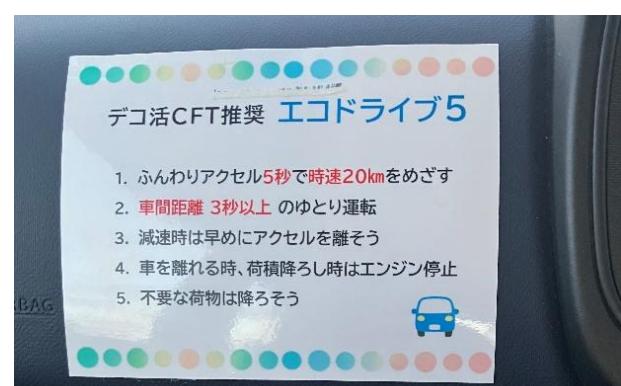
社用車の共有化により保有台数を削減。そして 4 台は EV (電気自動車) へ順次切り替えました。

さらにデコ活 CFT が、EV を含む社用車の使用状況を分析。使用者を限定せず、営業職など外出の多い社員のなかでも走行距離の長い社員が EV を優先的に利用する体制を構築。稼働率向上に成功しました！

社用車内には「エコドライブ 5」の POP を掲示し、エコドライブ意識向上を図っています。



▲EV 社用車と EV ステーション



▲「エコドライブ 5」POP 掲示

-  **SDGs 推進イベント:**
フェアトレードイベントでのEVの電力を使って世界に一つだけのエコバック制作や間伐材クラフト教室などを開催しています！
-  **マングローブ植林:**
省エネ性能の高い対象の複合機を1台購入されるごとに、マングローブの木を1本植林する活動を実施。
社員にCO2削減効果などをフィードバックし、社員のモチベーション向上にもつなげています！

【今後の展望】

1. 対外的な活動・イベント強化

- 社用車のエコドライブ啓発有休取得促進を継続。
- 2025年下期は、「デコ活」の一環として、脱炭素の課題を持つ企業向けの座談会開催や、ソリューション販売の紹介といった対外的な活動・イベントを強化していきます。

2. 情報発信によるWIN-WINの関係構築

- 支社ウェブサイトでの脱炭素への取り組み発信を継続。
- マングローブ植林活動の発信のように、社内外への周知を強化し、社員一人ひとりの仕事が、会社の利益だけでなく、地域貢献や地球環境保全にもつながっていくというWIN-WINの脱炭素活動を目指していきます。

3. 組織全体の目標と具体的な施策

• ロードマップ:

2050年までのスコープ1,2,3に関する各支社の目標達成に向けた計画を推進していきます。



- **車両戦略:**
EVへの段階的な切り替えと、車両台数の削減を同時に進め、さらなる進化を目指していきます。
- **社員啓発**
CO₂削減効果の見える化を通じて、社員の環境意識向上を図ります。
- **ZEB事業所の普及推進:**
リコージャパンには18拠点のZEB対応事業所がありますが、岐阜支社は「第1号モデル事業所」としてトップランナーを目指していきます。
また、講演や見学会を通じて、県内のZEB事業所の導入を推奨していきます。

4. 地域への貢献

- 岐阜県内を中心に、エネルギーの地産地消に関するノウハウを提供していきます。

リコージャパン岐阜支社は、これらの活動を通じて、社員、地域社会、そして地球環境にとって「WIN-WIN」となる持続可能な未来の実現を目指しています！



▲今回の取材に応えて下さった皆様：

（左から）岐阜支社長 中本宗利様、和田祐輝様、平野湖様、杉江由美子様